

越谷市の

ざいせい状況

〈平成18年度上半期〉

主な内容

一般会計予算の執行状況	2~4
特別会計予算の執行状況	5
市債現在高の状況	6
一時借入金の状況	7
財産の状況	7
平成17年度決算状況	8~9
市債現在高の推移	10
主な財政指標	11
平成17年度貸借対照表	12~13
平成17年度マトリクス型一般会計歳出決算書	14~15

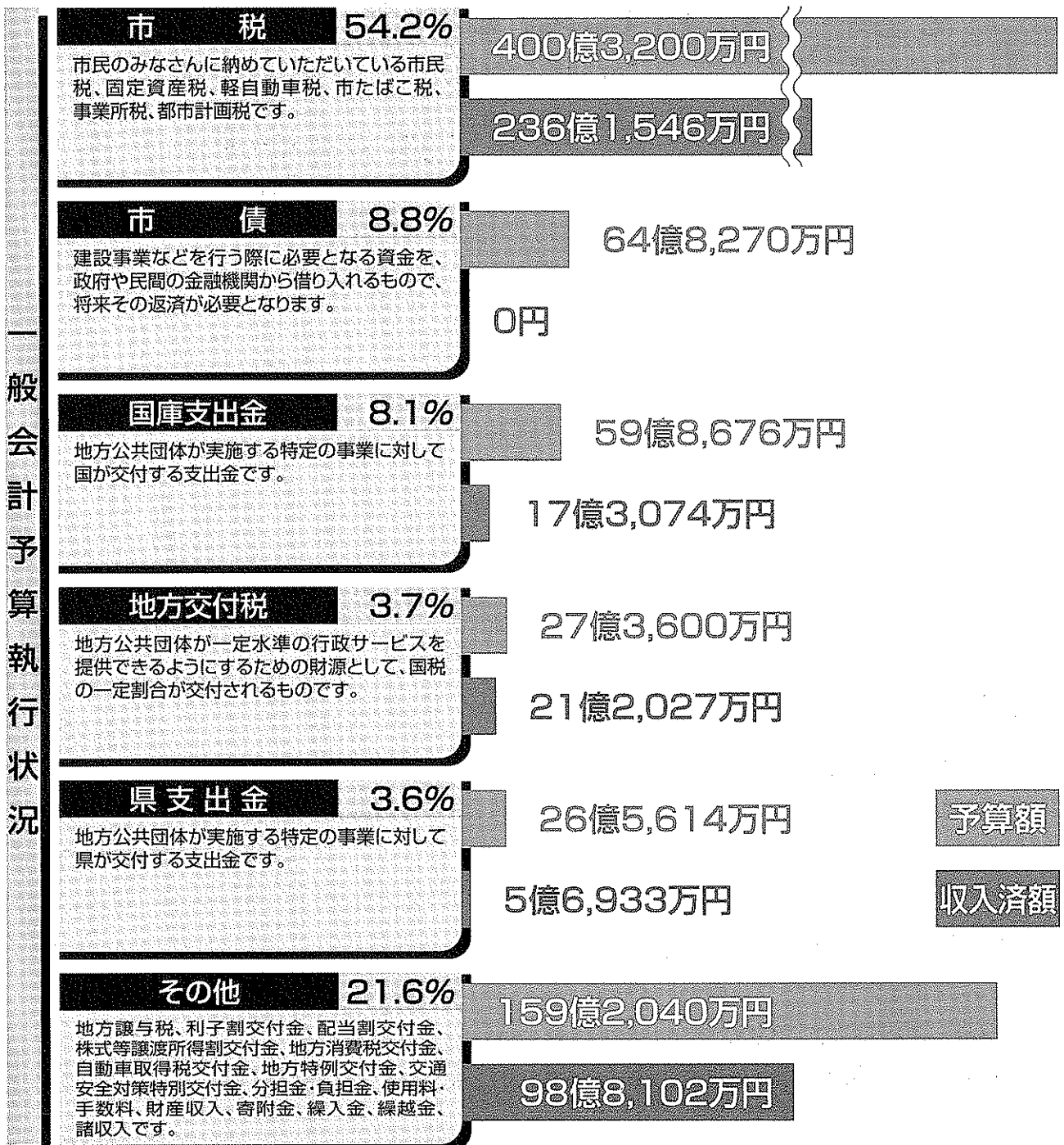
平成 18 年 度

市では、年2回越谷市の財政状況を公表しています。今回、公表するのは平成

一般会計

一般会計は、越谷市の行政運営の基本的な経費を中心に計上されたものです。平成18年度の予算額は738億1,400万円（繰越事業を含む）であり、その執行状況（収入・支出済額）は平成18年9月30日現在、次のとおりになっています。

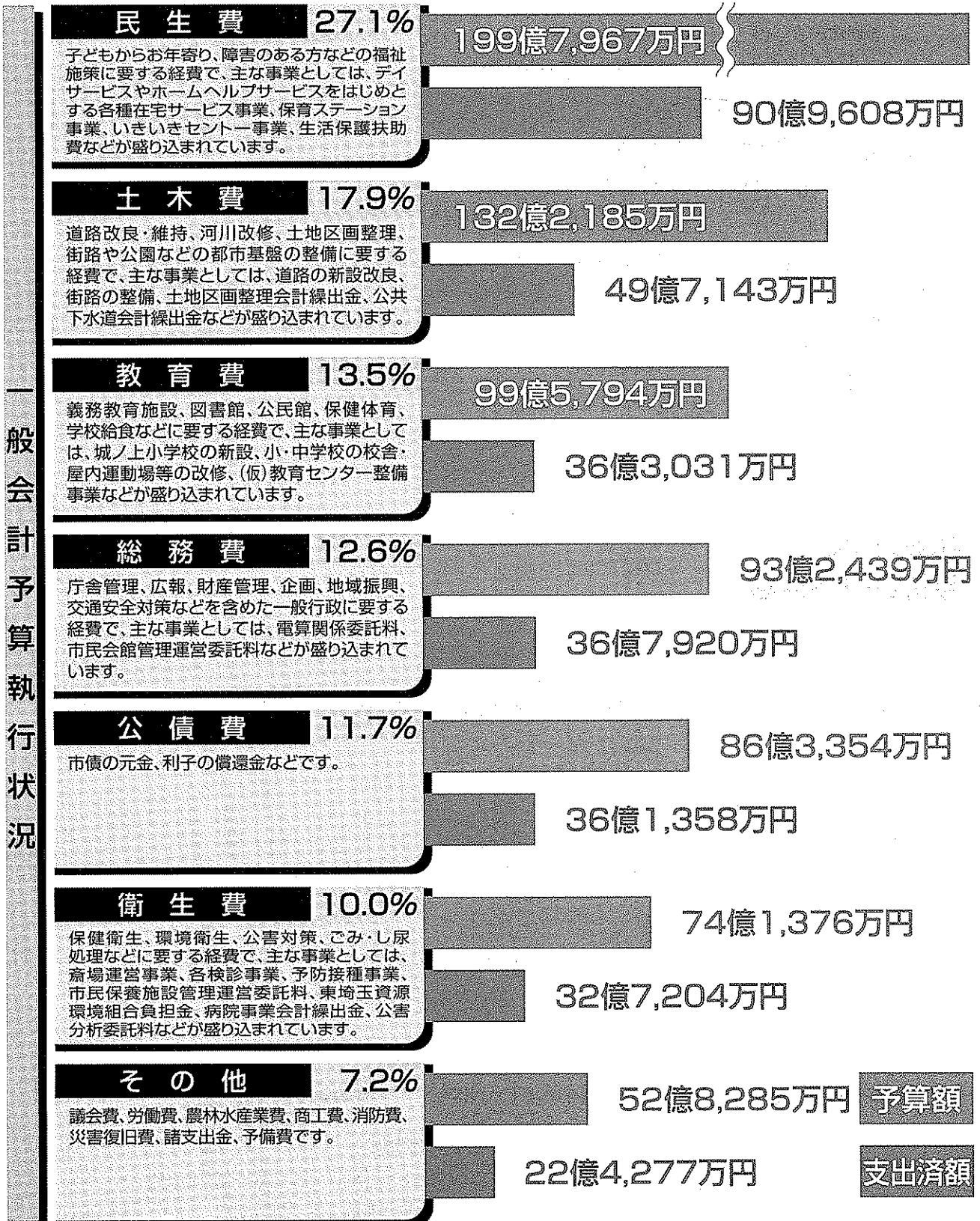
歳入



予算執行状況

18年度上半期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の執行状況です。

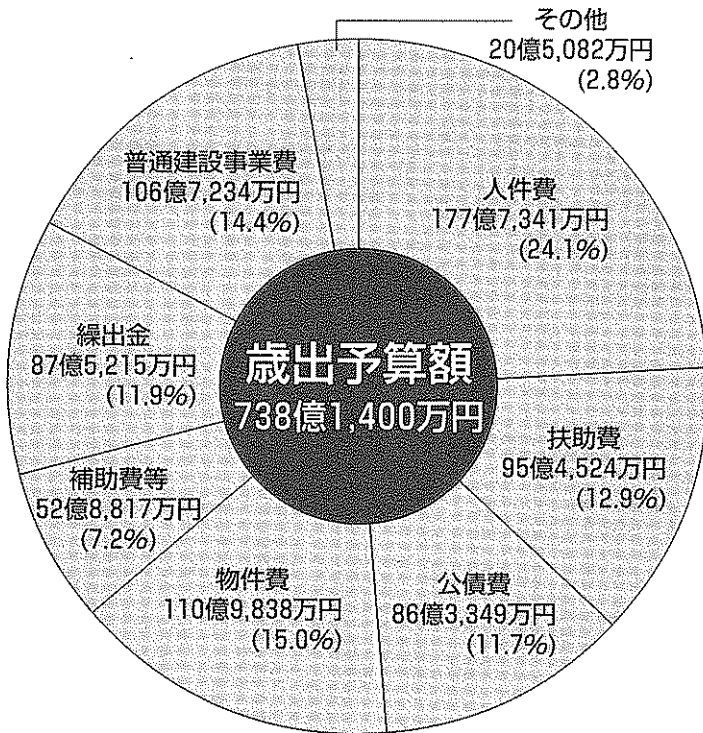
歳出



は構成比

歳出予算の 性質別割合

歳出予算をその経済的性質を基準として分類するもので、地方公共団体の財政の体質分析の指標となり、この分類の結果から財政運営の指針を見いだすことができます。平成18年度予算を性質別に分類すると次のとおりになります。



- 人件費(職員の給与など)
- 扶助費(各種福祉サービスを提供する経費など)
- 公債費(市債の元利償還金など)
- 物件費(委託料や備品購入費など)
- 補助費等(負担金や補助金など)
- 繰出金(特別会計への繰出金)
- 普通建設事業費(学校や道路、公園などを建設する経費)
- その他(維持補修費や貸付金など)

市民1人 当たりの予算額

平成18年度の歳出予算額と市税予算額を市民1人あたりに換算しますと、それぞれ次のとおりになります。

(平成18年9月30日現在の人口318,431人)



【平成18年度の市税予算額 400億3,200万円】

- 市民税 188億7,000万円
- 固定資産税 161億 200万円
- 軽自動車税 1億8,000万円
- 市たばこ税 21億1,000万円
- 事業所税 6億円
- 都市計画税 21億7,000万円

特別会計

特定の事業を行う場合に特定の歳入をもって特定の歳出にあて一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合、一般会計とは別に特別会計を設けています。越谷市には、国民健康保険会計をはじめ10会計あり、それぞれの執行状況は平成18年9月30日現在、次のとおりです。

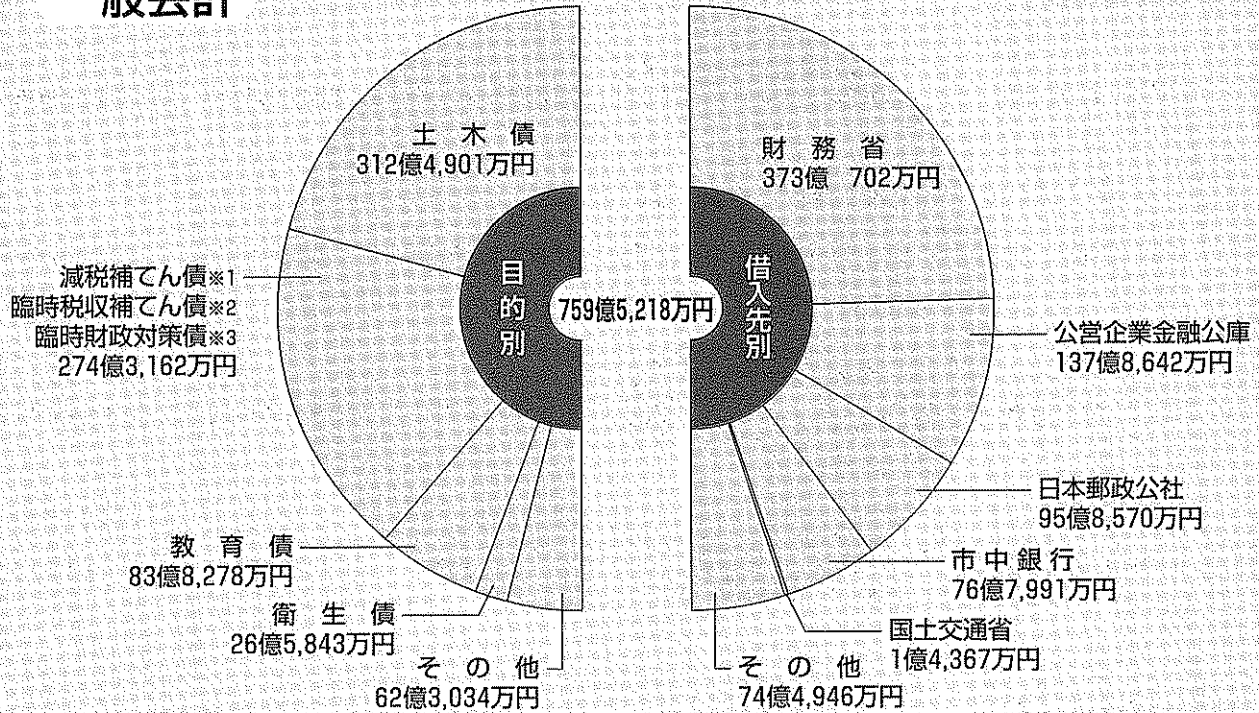
会計別執行状況

会計名	事業内容	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	被保険者の疾病、負傷、出産、葬祭に関して必要な保険給付事業	275億2,925万円	98億1,661万円	118億4,184万円
老人保健	老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るため75歳以上(一部経過措置あり)又は65歳以上で一定の障害の認定を受けた方への医療給付事業	142億8,169万円	67億8,088万円	65億3,963万円
介護保険	老後における最大の不安要因である介護を社会全体で支えるため、65歳以上又は40歳から64歳までで特定疾病に該当する方への必要な居宅介護・施設介護サービスなどの保険給付事業	67億7,203万円	43億9,306万円	30億4,485万円
交通災害共済事業	市民のみなさんが加入金を支払い、交通事故により災害を受けた方に見舞金を支払う共済事業	8,071万円	6,880万円	2,278万円
東越谷 土地区画整理事業		15億6,534万円	5億6,909万円	7億2,664万円
越谷駅西口 土地区画整理事業		1億3,394万円	9,083万円	1,074万円
七左第一 土地区画整理事業	宅地造成を目的とする事業で、道路、下水道、公園等の公共施設を整備して良好な住環境をもつ市街地を形成する事業	10億7,696万円	2億2,780万円	3億9,689万円
西大袋 土地区画整理事業		21億2,454万円	5億 571万円	4億8,871万円
公共下水道事業	トイレの汚水や家庭から出る雑排水などを衛生的に処理する環境整備事業	80億9,681万円	33億3,457万円	22億6,459万円
公共用地先行取得事業	将来、公共用もしくは公用に供する用地又はその代替地として利用する計画に基づいて用地を取得する事業	3億2,500万円	0円	1億6,251万円

市債現在高の状況

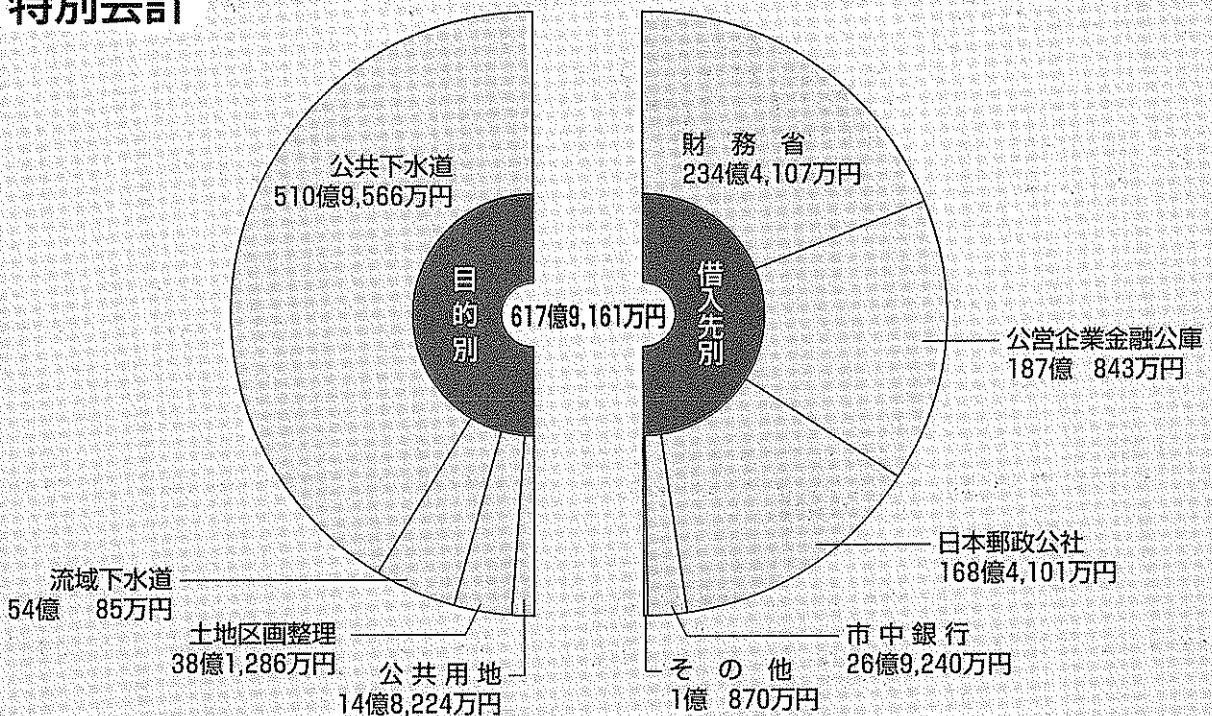
市債は、学校や道路、公園などを整備するために必要な資金を調達する際に発行するもので、後年度においてその返済義務が発生します。越谷市における未償還元金は平成18年9月30日現在、次のとおりになっています。なお、市債の発行にあたっては、地方交付税により財政的に措置されるものを優先的に借り入れるよう努めています。

一般会計



※1 地方税を減税したことで生じた歳入の不足を補うための地方債
 ※2 平成9年度の地方消費税の税収が著しく落ち込んだことで生じた歳入の不足を補うための地方債
 ※3 国の財源不足等により減少となった地方交付税交付金を補うための地方債

特別会計



一時借入金の状況

一時借入金は、支払いに対して手持ちの現金が不足した場合に、これを補うために短期間借り入れるもので、当該年度の出納閉鎖日である5月31日までに返済しなければなりません。平成18年度上半期においては借り入れ及び現在高ともありません。

財産の状況

越谷市の財産には、土地、建物などの公有財産と特定の目的のために設置された基金があり、その内容は次のとおりです。

公有財産

行政財産…庁舎や学校、保育所などの建物や敷地など

普通財産…行政財産のように直接行政目的のために供されるものではなく、その経済的な運営によって間接的に行政の執行に寄与することを主な目的とするもの

(平成18年9月30日現在)

区 分		土 地 面 積	建 物 面 積	
行政財産	本 庁 舎	15,990㎡	17,244㎡	
	その他の行政機関	消 防 施 設	16,764㎡	9,069㎡
		そ の 他 の 施 設 (学校給食センター等)	64,190㎡	22,196㎡
	学 校	968,524㎡	312,084㎡	
	公共用財産	公 営 住 宅	24,237㎡	9,479㎡
		公 園	804,688㎡	4,497㎡
		そ の 他 の 施 設 (地区センター等)	428,134㎡	154,871㎡
小 計	2,322,527㎡	529,440㎡		
普 通 財 産	125,966㎡	16,727㎡		
合 計	2,448,493㎡	546,167㎡		

基金

基金は、特定の目的のために積み立て又は運用するために設けられたものです。現在8つの基金を設置しており、各基金の平成18年9月30日現在額や設置内容は次のとおりです。

財政調整基金
12億9,418万円
災害復旧、り災援助及び市債の繰上償還等財源に不足が生じた時のための基金

国民健康保険の保険給付費支払基金
11万円
国民健康保険の保険給付費支払金の不足額に充てるための基金

土地開発基金
25億円
公用又は公共用に必要な土地をあらかじめ取得し、事業の円滑な執行を図るための基金

公共施設等整備基金
3,000万円
公共施設等の整備のための基金

越谷しらこぼと基金
9億1,000万円
快適で魅力的なふるさとづくりに活用するための基金

高速鉄道等整備基金
1億21万円
新たな高速鉄道や鉄道関連施設の整備を推進するための基金

介護保険給付費準備基金
9億565万円
介護保険事業に要する費用の不足額に充てるための基金

国民健康保険出産費資金等貸付基金
1,000万円
高額療養費及び出産に要する費用を貸し付けるための基金

平成17年度

平成17年度の事業期間(平成17年4月1日～平成18年3月31日)が終了しましたので、

一般会計

歳入決算額は、761億1,812万円で、予算額に対して102.2%の収入となりました。前年度決算額812億1,129万円に比べ50億9,317万円減となりました。一方、歳出決算額は、729億7,524万円で、予算額に対して98.0%の執行となりました。各種福祉政策の充実や、市民生活に欠かせない都市基盤整備などに努めました。

歳入

区分 款別	予 算 額	決 算 額	決算額構成比
市 税	394億9,600万円	407億4,869万円	53.5%
市 債	73億3,400万円	70億6,370万円	9.3%
国庫支出金	69億9,157万円	68億4,483万円	9.0%
地方交付税	40億8,400万円	41億7,325万円	5.5%
県支出金	26億 290万円	25億8,403万円	3.4%
そ の 他	139億6,190万円	147億 362万円	19.3%
合 計	744億7,037万円	761億1,812万円	100.0%

歳出

区分 款別	予 算 額	決 算 額	決算額構成比
民 生 費	198億6,299万円	197億2,408万円	27.0%
土 木 費	134億9,031万円	132億4,475万円	18.1%
教 育 費	99億8,280万円	94億6,143万円	13.0%
総 務 費	89億 142万円	87億2,920万円	12.0%
衛 生 費	83億6,334万円	81億5,581万円	11.2%
公 債 費	83億5,227万円	83億2,773万円	11.4%
そ の 他	55億1,724万円	53億3,224万円	7.3%
合 計	744億7,037万円	729億7,524万円	100.0%

決算状況

一般会計及び特別会計の決算状況を報告いたします。

特別会計

行政をより円滑に、かつ効率よく進めるために特別会計を設置し、それぞれの事業目的にそった執行を行いました。

会計名	区分	予 算 額	決 算 額	
			歳 入	歳 出
国民健康保険		269億2,334万円	269億7,547万円	263億8,321万円
老人保健		155億9,393万円	155億4,360万円	154億2,729万円
介護保険		71億1,510万円	72億4,853万円	69億 510万円
交通災害共済事業		7,071万円	7,094万円	6,313万円
東越谷土地区画整理事業		18億2,914万円	18億2,956万円	16億6,932万円
越谷駅西口土地区画整理事業		5,751万円	5,758万円	4,336万円
七左第一土地区画整理事業		14億5,239万円	13億2,968万円	11億8,990万円
西大袋土地区画整理事業		27億4,769万円	25億2,162万円	20億6,921万円
公共下水道事業		82億3,675万円	81億3,585万円	80億3,554万円
公共用地先行取得事業		3億2,700万円	3億2,657万円	3億2,657万円
合 計		643億5,356万円	640億3,940万円	621億1,263万円

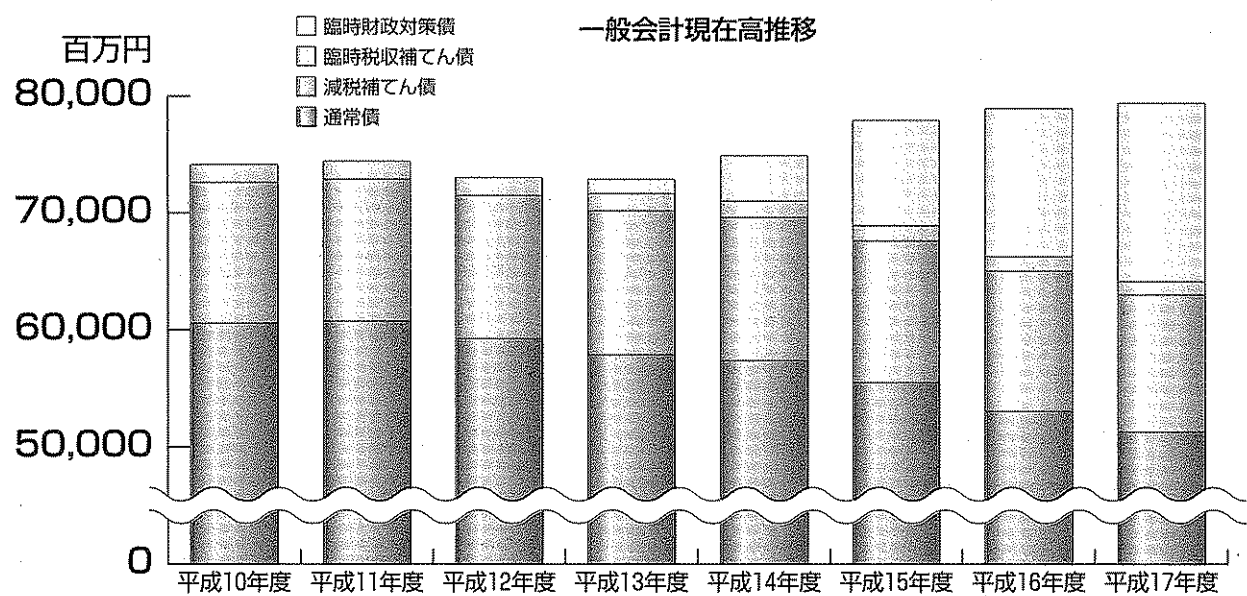
市税の状況

税 目	区 分	予 算 額	調 定 額 ④	収 入 済 額 ⑤	徴 収 率 (⑤/④)	決 算 額 構 成 比	市 民 一 人 当 たり 負 担 額
市 民 税		175億 700万円	194億9,382万円	181億9,923万円	93.4%	44.7%	57,323円
固 定 資 産 税		168億9,000万円	187億2,362万円	172億9,015万円	92.3%	42.4%	54,460円
軽自動車税		1億7,000万円	2億1,098万円	1億8,790万円	89.1%	0.5%	592円
市たばこ税		20億3,000万円	20億8,766万円	20億8,766万円	100.0%	5.1%	6,576円
特別土地保有税		400万円	4,746万円 (7,486万円)	0万円	0% (0%)	0%	0円
事業所税		5億9,500万円	6億3,720万円	6億1,896万円	97.1%	1.5%	1,950円
都市計画税		23億円	25億7,683万円	23億6,479万円	91.8%	5.8%	7,448円
合 計		394億9,600万円	437億7,757万円 (438億 496万円)	407億4,869万円	93.1% (93.0%)	100.0%	128,349円

※()内は、徴収猶予分を含む。人口317,483人(平成18年3月31日現在)

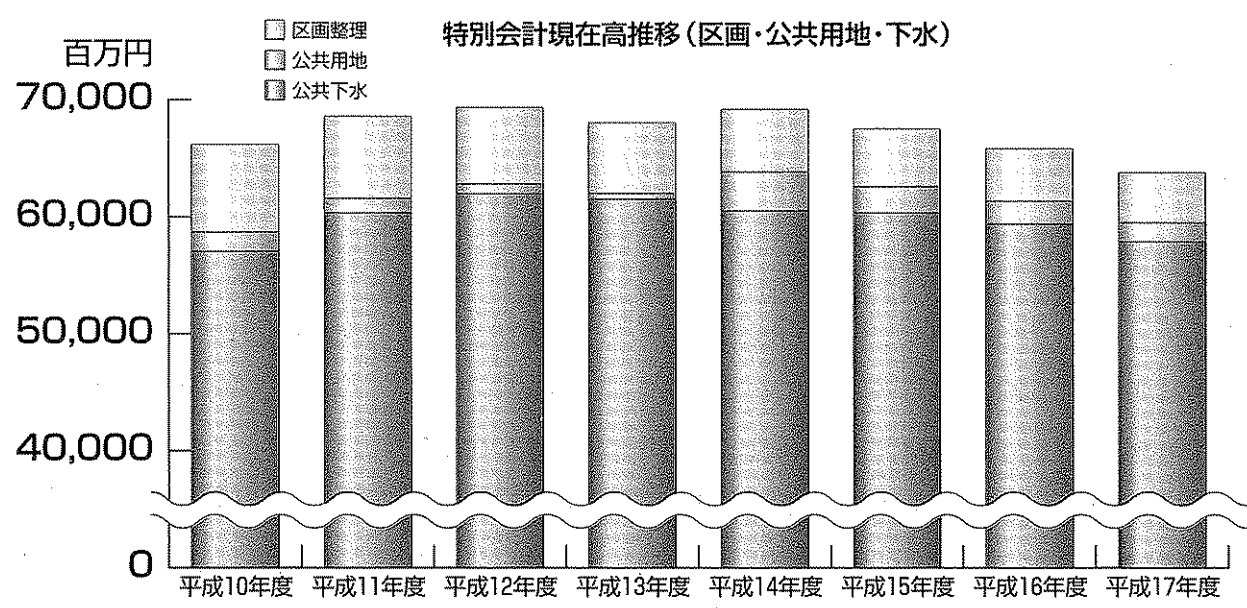
市債現在高の推移

一般会計の市債現在高のうち、教育施設や道路などの整備事業に充てる通常債は減少傾向にあります。国の財源不足等により発行する特例債（臨時財政対策債、臨時税収補てん債、減税補てん債の合計）は増加しています。



単位:万円

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
臨時財政対策債	0	0	0	126,310	389,260	900,944	1,265,282	1,524,897
臨時税収補てん債	154,400	154,400	154,400	146,747	138,934	130,957	122,813	114,498
減税補てん債	1,205,206	1,212,798	1,224,096	1,230,241	1,226,162	1,212,410	1,200,832	1,170,538
通常債	6,054,147	6,073,765	5,922,224	5,785,326	5,734,564	5,546,996	5,301,845	5,128,015

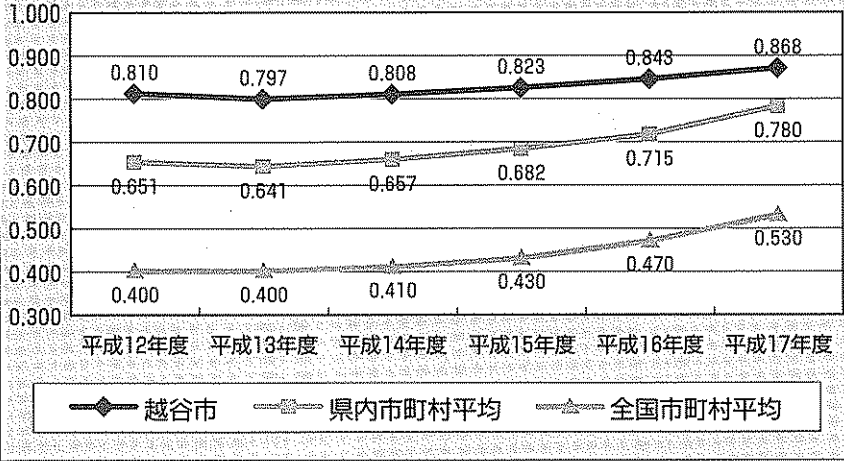


単位:万円

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
区画整理	749,370	700,548	653,775	605,777	535,735	494,123	448,057	428,847
公共用地	165,979	124,418	86,038	49,517	331,137	225,630	195,270	163,906
公共下水	5,701,462	6,031,603	6,192,980	6,149,641	6,049,787	6,031,011	5,937,040	5,784,134

主な財政指標

財政力指数の推移



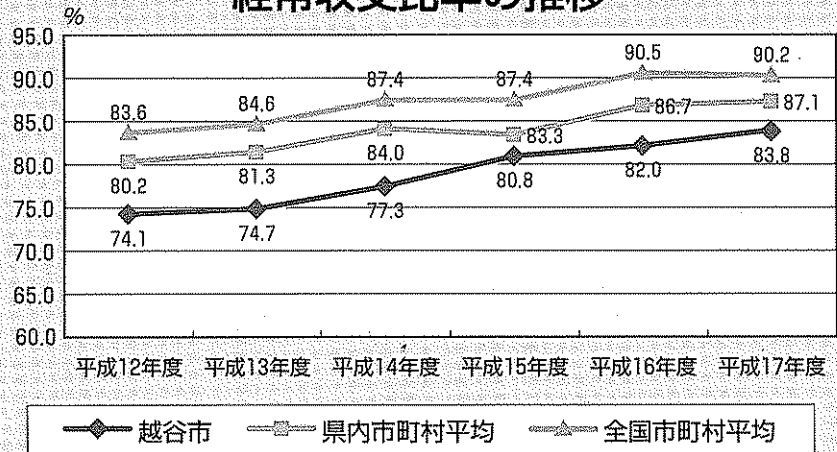
財政力指数

地方公共団体の財政基盤の強弱を表す指数で、普通交付税を算定する際に用いる、基準財政収入額を基準財政需要額で割った数の過去3カ年の平均値を指数として用いたものです。単年度で指数が「1」以上の場合、その年の普通交付税は交付されません。つまり、1に近い、あるいは1を超えるほど財源に余裕があるものとされており、越谷市の場合は、全国平均から上位に位置しています。

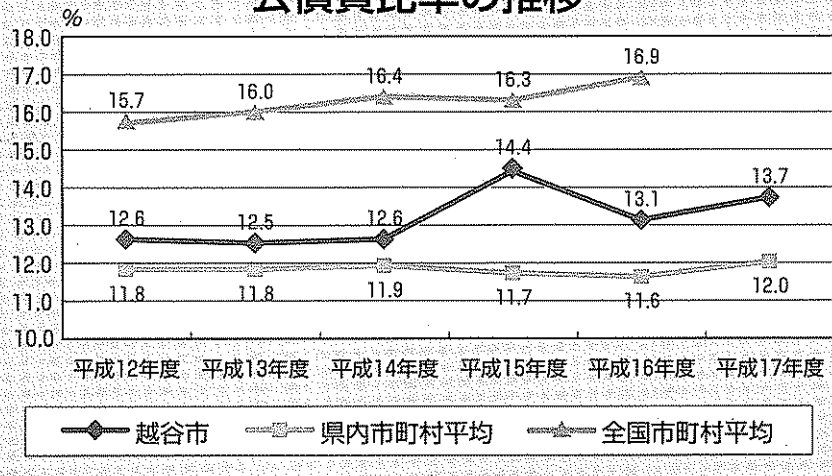
経常収支比率

人件費や公債費など毎年度経常的に支出する経費が、地方税など、毎年度経常的に収入される一般財源の総額に占める割合。個人の生活にたとえば、毎月の給与のうちどの程度が通常の消費支出や住宅ローンなどの返済に充てられているかの割合です。比率が高いほど財政の弾力性が欠けるとされており、越谷市の場合は全国平均より低い比率になっています。

経常収支比率の推移



公債費比率の推移



公債費比率

地方債の元利償還金に充当された一般財源の標準財政規模に対する割合で財政構造の健全性をみる比率です。標準財政規模は地方公共団体の標準的な状態で通常歳入されるであろう経常的一般財源の規模をいいます。公債費比率が高いほど財政の弾力性が阻害されると言われておりますが、越谷市の場合は全国平均より低い比率になっています。

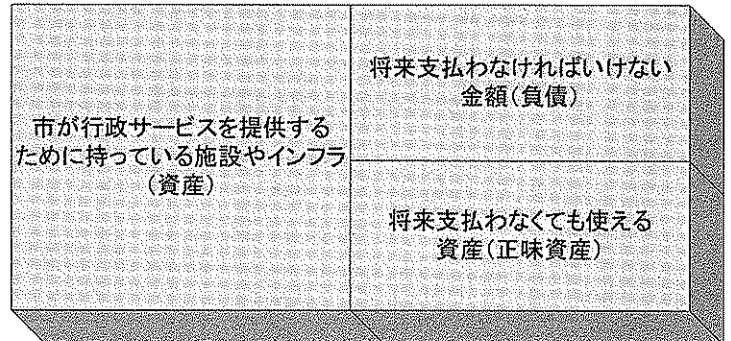
※平成15年度の数値については、越谷市斎場用地分の市債を一括償還したため、一時的に上昇したものです。
 ※平成17年度の全国市町村平均の数値は、未公表のため掲載しておりません。

貸借対照表からみた越谷市の財政

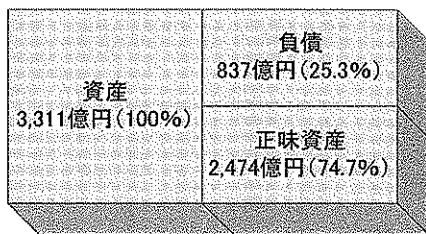
越谷市では、総務省が発表した方式を基本に普通会計の貸借対照表を作りました。

貸借対照表とは？

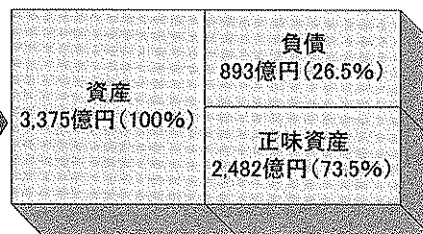
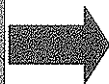
貸借対照表（バランスシート）には、越谷市が市民の皆さんに行政サービスを提供するためにどのくらいの「もの」を持っているかを示しています。その金額は「資産」の部に表されます。また、将来にどのくらいの支払を残しているかを見ていただくこともできます。その金額は「負債」の部に載ります。「資産－負債の差額」は「正味資産」と呼ばれていて、代金の支払がすでに済んでいる「資産」の大きさを示しています。



1年間でどれだけ変わった？



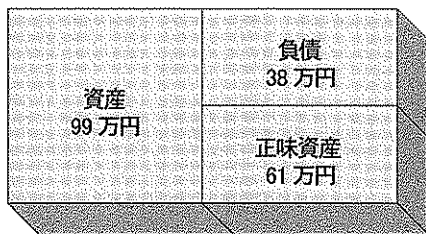
平成16年度貸借対照表



平成17年度貸借対照表

この1年間に将来支払わなければならない負担が増えていますが(56億円)、それ以上に将来サービスを提供する資産が増えています(64億円)。資産の増加に比べ負債の増加を極力抑え、将来に負担を残さない財政運営を行っています。

越谷市の特徴は？



市民1人あたり貸借対照表の類似市平均
(平成16年度)



越谷市の市民1人あたり貸借対照表
(平成17年度)

越谷市と人口や財政規模が似ているいくつかの市の平均と、市民1人あたりの金額を比較します。越谷市は面積が広いため、道路や橋りょうの整備等多くの投資を必要としますが、資産に対する負債と正味資産の割合は変わらないため、バランスの取れた地域整備が行われていると言えます。

越谷市が保有している資産の半分以上(52.1%)は、道路や橋、河川改修や公園整備などで占められています。また、学校校舎や図書館などの教育関連施設も29.4%にのぼっており、両者を併せると81.5%になります。最近では斎場などの衛生関連施設も増えています。

借金の状況は？

国の財源不足等により発行する地方債の影響で、総額は増加傾向にあります。しかし、施設や道路等の整備のために発行する通常債は減少傾向にあります。

単位：億円

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
地方債	827	837	843
現金・預金	43	50	53

どのような施設やインフラがあるのか？

単位：億円

内容	金額	構成比
庁舎など	140	4.4%
保育所や福祉施設など	114	3.6%
資源化センターなど	127	4.0%
農道整備など	64	2.0%
道路・橋・河川改修など	1,646	52.1%
学校校舎や図書館など	929	29.4%
その他	142	4.5%
計	3,162	100%

貸借対照表でなにがわかる？

下の表は越谷市の平成17年度貸借対照表です。貸借対照表を見れば、道路や橋などの建設に使ったお金の合計や、貯金、借金の状況など様々な情報が一覧できます。

平成17年度 貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(単位:百万円)

借 方		貸 方	
【資産の部】		【負債の部】	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1)総務費	14,029	(1)市債(翌々年度以降償還予定額)	76,899
(2)民生費	11,438	(2)債務負担行為	4,956
(3)衛生費	12,742	固定負債合計	81,855
(4)労働費	653		
(5)農林水産業費	6,393	2. 流動負債	
(6)商工費	30	(1)市債(翌年度償還予定額)	7,408
(7)土木費	164,585	(2)翌年度繰上充用金	0
(8)消防費	3,589	流動負債合計	7,408
(9)教育費	92,865		
(10)その他	9,897	負債合計	89,263
計	316,221		
(うち土地)	146,707)		
有形固定資産合計	316,221		
2. 投資等		【正味資産の部】	
(1)投資及び出資金	8,002	1. 国庫支出金	31,522
(2)貸付金	1,113	2. 県支出金	3,461
(3)基金	3,540	3. 一般財源等	213,216
投資等合計	12,655	正味資産合計	248,199
3. 流動資産		負債・正味資産合計	337,462
(1)現金・預金	5,315		
(2)未収金	3,271		
流動資産合計	8,586		
資産合計	337,462		

施設やインフラ資産に使ったお金の合計です。金額の大きい土木費には道路や橋、教育費には学校の校舎や図書館などが含まれます。

土地開発公社やコミュニティセンターなどへの出資・出捐金の残高です。

土地開発公社や民間への貸付金です。

用地の取得や地域の基盤整備の推進など、使いみちが決まっている貯金です。

使いみちが決まっていない貯金や現金です。

受け取る予定だった税金や使用料などのうち、未だ受け取っていない分です。

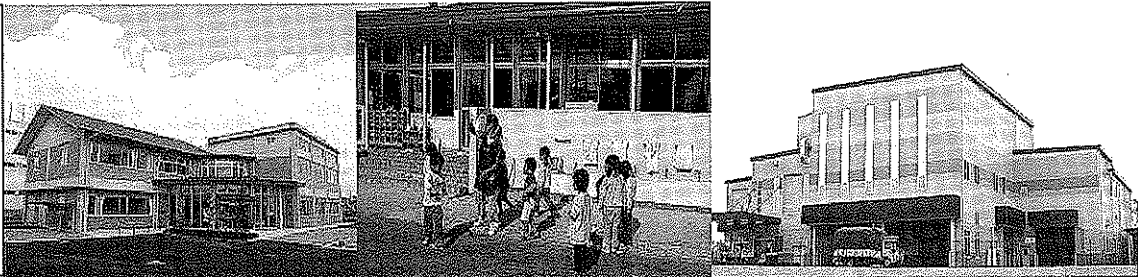
将来返さなければならない借金のうち、平成19年度以降に返す分です。

PFI等の手法により物件の引渡しを受けたもののうち、翌年度以降に支払う分です。

有形固定資産を取得するために受け取った、国からの補助金です。

有形固定資産を取得するために受け取った、県からの補助金です。

※1 年度末市債現在高84,307,509千円のうち、地方交付税の基準財政需要額に算入される額は47,976,123千円です。
 ※2 債務負担行為の限度額のうち債務保証は24,497百万円、その他38,189百万円、その他のうち翌年度以降支出予定額は、29,674百万円です。
 ※3 埼玉県市町村職員退職手当組合に加入しており、退職手当は全額同組合より支給されます。なお、年度末現在で全職員が普通退職した場合の要支給額は19,325百万円です。
 ※4 普通会計以外の資産形成に係る繰入金があり、公共下水道事業費特別会計における昭和44年度以降の累計額は、65,358百万円です。



平成17年度一般会計歳出決算を基に「階層

階層マトリクス型の決算

市の予算の用途を表す歳出決算は、目的別に当たる歳出科目の「款」別および「性質」別の決算をまでの決算の方法として行っている歳出科目分類では、その事業の持つ目的や性格を把握しにくい面そこで、決算をより分かりやすいものにするため「階層マトリクス型歳出決算書」を作成しました。の体系を使って、歳出決算をマトリクス（相関表）形式に集計したものです。

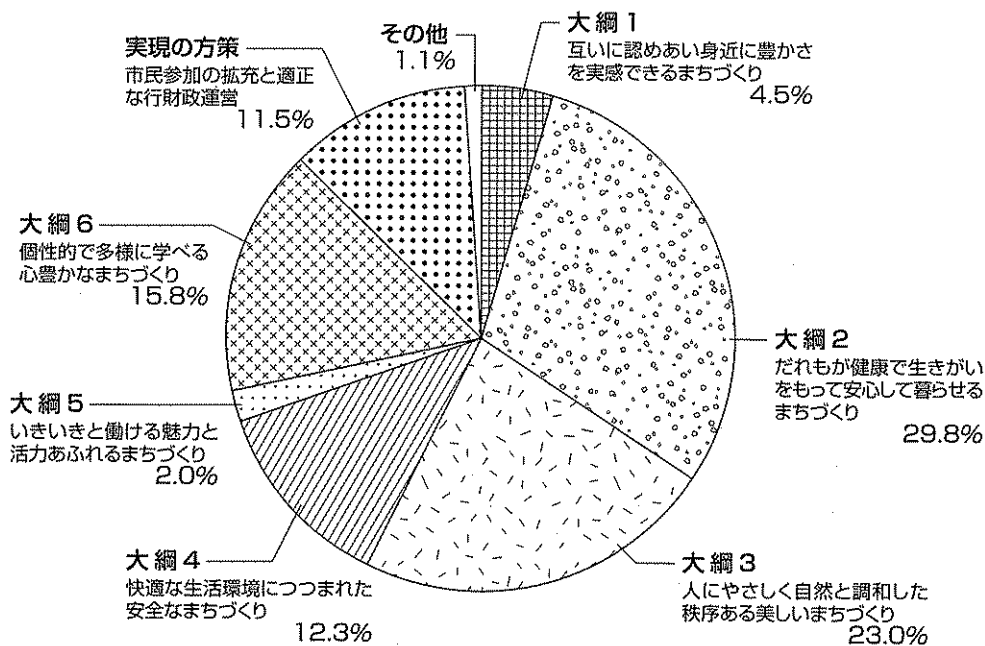
歳出科目分類の「款」ごとの決算額を「横軸」（表頭に表わす）とし、第3次総合振興計画の施策体系目的や性格・大きさ（規模）を分かりやすく把握することができます。

なお、施策の「その他」には施策の大綱（1～6）および「実現の方策」にない事業や施策を集計して

平成17年度階層マトリクス型

施 策	款	議 会 費	総 務 費	民 生 費	衛 生 費	労 働 費
大綱1 互いに認めあい身近に豊かさを実感できるまちづくり		0	213,641	40,699	19,418	0
大綱2 だれもが健康で生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり		0	0	1,931,709	218,794	0
大綱3 人にやさしく自然と調和した秩序ある美しいまちづくり		0	111	0	0	0
大綱4 快適な生活環境につつまれた安全なまちづくり		0	7,298	0	517,662	0
大綱5 いきいきと働ける魅力と活力あふれるまちづくり		0	0	0	0	5,391
大綱6 個性的で多様に学べる心豊かなまちづくり		0	57,077	0	0	0
実現の方策 市民参加の拡充と適正な行財政運営		3,328	559,669	0	58,347	0
その他		45,576	35,124	0	1,360	0
総 計		48,904	872,920	1,972,408	815,581	5,391
構 成 割 合		0.7%	12.0%	27.0%	11.2%	0.1%

平成17年度一般会計歳出決算の大綱別構成



施策（大綱）の内訳

大綱1	地域で支えあうまちづくり、 で快適に暮らせる地域 のない明るいまちづくり
大綱2	保健・医療、児童家庭 保障
大綱3	一体性のある計画的な 美しい都市景観の創造、 下水道・河川、上水道
大綱4	環境共生のまちづくり、
大綱5	産業の育成、商業・観光、
大綱6	幼児教育、学校教育、 エーション
実現の方策	市民と行政の協働による 強化
そ の 他	議会、総務、選挙など

マトリクス型歳出決算書』を作成しました。

公表しておりますが、市民サービスの多様化が進み、事業内容の多目的、複合的なものが増えてきました。そうした横断的な事業は、これがあります。

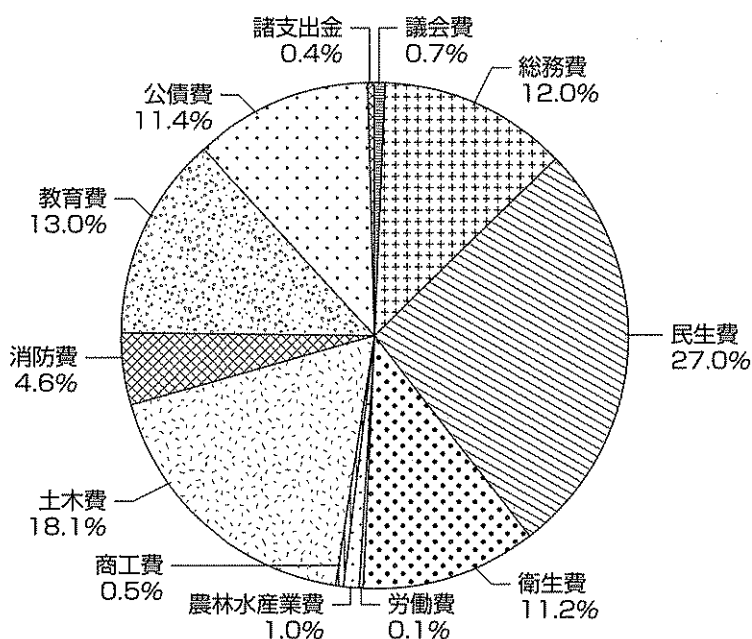
各種の事業や施策の性格・目的を分かりやすく、しかも、正確に表現するため、市民感覚に近い表現となっている「総合振興計画」の施策の大綱を「縦軸」（表側に表す）として、マトリクス（相関表）形式で集計しました。決算を施策体系に分類することにより、実施した事業等の

一般会計歳出決算

(単位：万円)

農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	諸支出金	総計	構成割合
300	0	2,368	0	25,565	25,681	500	328,172	4.5%
0	0	248	0	0	25,232	0	2,175,983	29.8%
0	0	1,282,459	0	0	398,827	0	1,681,397	23.0%
0	0	16,293	335,364	0	18,942	0	895,559	12.3%
71,568	39,528	0	0	0	25,928	0	142,415	2.0%
0	0	5,900	0	920,578	170,352	0	1,153,907	15.8%
0	0	17,207	0	0	167,811	31,669	838,031	11.5%
0	0	0	0	0	0	0	82,060	1.1%
71,868	39,528	1,324,475	335,364	946,143	832,773	32,169	7,297,524	100%
1.0%	0.5%	18.1%	4.6%	13.0%	11.4%	0.4%	100%	

平成17年度一般会計歳出決算の款別構成



伸びやかに子どもが育つ地域づくり、安心づくり、互いに認めあう社会づくり、差別地域におけるまちづくりの推進

福祉、障害者(児)福祉、高齢者福祉、社会

都市の形成、人にやさしい都市づくり、市街地、道路、公共輸送網、公園・緑地、

住宅、防災、消防・救急

工業、農業、雇用の対策

社会教育・文化活動、スポーツ・レクリ

市政の推進、都市経営の推進、都市連携の



平成18年12月発行
越谷市役所 企画部財政課
TEL.048-963-9115(直通)
FAX.048-965-8028



古紙配合率100%再生紙を使用しています